

安定した粗面化を実現し接着性を向上します

ケミブラスト® 処理

「金属の接着用下地表面処理」

ケミブラストにより得られる特殊形状と各種皮膜の組み合わせにより、樹脂・ゴムとの接着（接合）、摺動下地等の機能性表面処理が期待できる処理です。

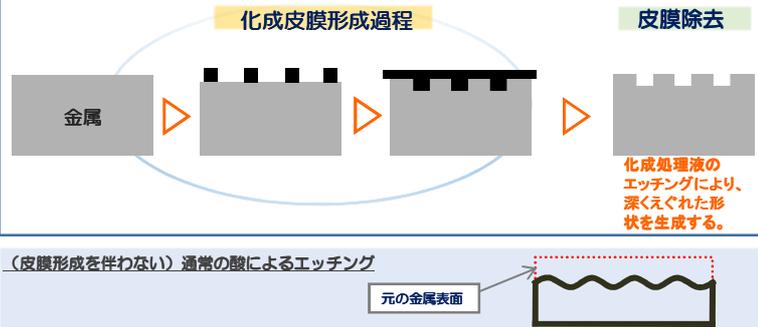
ケミブラスト処理の特徴

物理的粗面化と化学的粗面化の比較

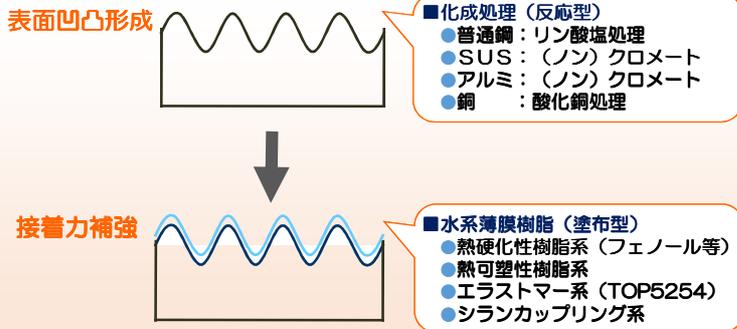
粗面化比較	化学的 (ケミブラスト)	物理的
①均一性	◎	△
②研磨粉異物付着性	◎	×
③大型形状複雑形状物	◎	△
④強度的に弱い対象物（薄板など）	◎	×
⑤接着力の経時変化	◎	△
⑥部分処理	○	◎

化学的粗面化の考え方

金属表面上に皮膜形成を伴う化学エッチング処理を行い、形成された皮膜を化学的に除去することによって金属表面に微細でシャープな凹凸を形成する



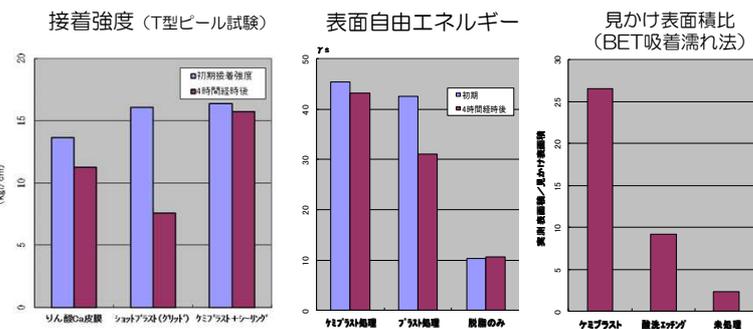
接着のための表面処理要素技術



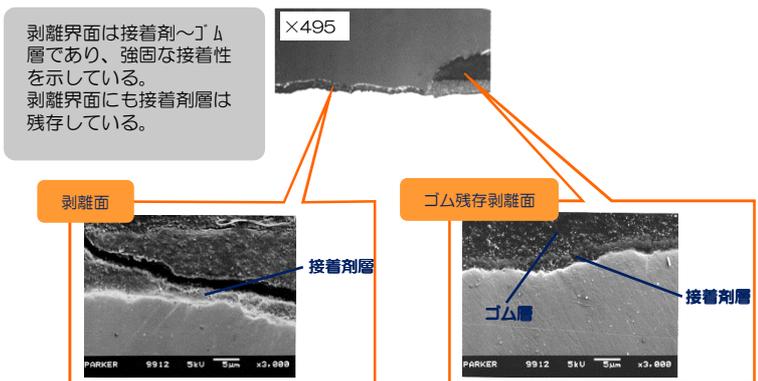
鉄鋼材料(SPC)の化学的粗面化処理例(ケミブラスト)

	光学顕微鏡 (×495)	SEM (×3000)	表面積比
Chemi-blast 化成処理 ↓ 皮膜除去			26.5 m ² /m ²
塩酸酸洗 ↓ 電解デスマット			9.21 m ² /m ²

各種試験データ（鉄鋼～ゴム接着）



引き剥がし強度



日本パーカライズング株式会社 加工事業本部

NIHON PARKERIZING CO.,LTD.